



# みかんぐみだより

令和7年1月17日

社会福祉法人まほろば 湊こども園

子どもたちの笑顔や元気な声と共に、新しい年がスタートしました。  
みかん組での生活も3か月足らずとなりましたが、1日1日を元気いっぱい楽しく過ごしていけたらと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します



最近の子どもたちは友達との関わりが深まり、いっしょに遊ぶことが増え、いろいろなごっこ遊びを楽しむ姿が見られるようになりました。お店屋さんごっこやおうちごっこをしたり、動物の真似をしたりして楽しんでいます。1人で遊んでいる時も自分なりにごっこ遊びを楽しんでいて、たこやきやケーキができると「ジャーン！」と嬉しそうに披露してくれます。また、お店屋さんごっこでは、お店屋さんの役になりきって「いらっしゃいませ」と元気よく声を掛け、「これください！」と言ってお客さんがくると「どうぞ！」と渡しています。保育者や友達とのやりとりを楽しんでいる子どもたちの姿がとても微笑ましいです。また、歌や手遊びも楽しんでいて保育者がいくつか提案し、「どれにする？」と聞くと「これがいい！」と言って簡単な身振りを楽しんでいます。

発表会では自分の名前を言ったり、保育者と言葉のやりとりをしたり、一緒に考えた身振りをしたりして友達と楽しんでる姿に成長を感じてもらえるといいなと思っています。



自分でできることが増えてきて、「自分でしよう！」とする意欲も育ってきています。たとえば、衣服を着る、靴を履く、おもちゃを片づけるなど、少しずつ身の回りのことを自分でやってみようと頑張っています。「お家ではなかなか・・・」という子どもたちも園では「自分で！」と言って取り組んでいます。衣服を脱ぐときにひっかかって「できない」と泣いてしまうこともあります。そんな時に、「手伝ってあげて」と周りの子どもに声を掛けると、脱がせてあげようと助ける姿もあり、脱ぐことができると、お互いとても嬉しそうに微笑み合っています。子どもたちが自分でできるように「どうしたらいいかな？」と優しく声を掛けたり、少しだけ手を添えたりして「自分でできた」と感じられるようにしています。これからも子どもたち一人ひとりとじっくり向き合いながら、「自分でできた！！」という喜びや達成感を味わえるように援助していきたいです。